

第4回

あづち・はちまん ふるさと検定

<中級・全100問>

試験問題・解答用紙

解答

2024年10月13日(日)

はちまん・あづち ふるさとアカデミー

解答方法

- 問題用紙と解答用紙は同じ紙です。
各問題の右側にある解答欄に、最も適当だと思ふ番号を書いてください。

例．「近江八幡」の正しい読み方はどれでしょう。

- ①おうみやわた ②おうみはちまん ③ちかえはちまん ④ちかえやわた

例．

2

- 問題は以下の分野に分かれています。

- | | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> A 歴史・遺跡 | <input type="checkbox"/> B 伝承・説話 | <input type="checkbox"/> C 建築・社寺 | <input type="checkbox"/> D 教育・文化 |
| <input type="checkbox"/> E 自然・地理 | <input type="checkbox"/> F 生活・環境 | <input type="checkbox"/> G 祭礼・行事 | <input type="checkbox"/> H 産業・商人 |

- 当検定では、安土・八幡の町の発展の基礎をつくった功労者として、織田信長豊臣秀次の両武将には特に、尊称として名前の後に「公」をつけています。
解答にあたってあらかじめご承知おきください。

試験時の注意事項

- 机の上には、受験票、筆記用具、時計 以外のものは出さないでください。
- 携帯電話は電源を切るかマナーモードにして、カバン等にしまってください。
- 具合の悪くなった方は、挙手にて試験官にお知らせください。
- 試験時間は 15：00 までですが、試験開始 30 分が経過した後は
解答を終わった人は問題 兼 解答用紙を閉じ、退室しても構いません。
一度退室したら、再入室はできません。
- 試験終了 15 分前、5 分前には試験官がお知らせします。
- 受験票はお持ち帰りください。

A 歴史・遺跡にかかわる記述について、最も適当な答えを①～④から選びなさい。

I. 八幡山城主となった豊臣秀次公の近江支配は、秀吉からあてがわれた宿老たちに支えられていました。その中には「秀次事件」に連座せず、国持ち大名になった者もいます。

1. 夫人の内助の功で立身した逸話で知られる山内一豊が、初代藩主となったのはどこの国でしょう。

- ①伊予 ②阿波 ③讃岐 ④土佐

1.
4

2. 後に徳川家に仕えた田中吉政が筑後に移り、八幡堀と同様の水路を整備した町はどこでしょう。

- ①久留米 ②柳河（川） ③直方 ④秋月

2.
2

3. 同じく徳川家に仕え、息子と共に浜松から松江に転じ、孫の当主を助けて現在の国宝・松江城を築いたのはだれでしょう。

- ①堀尾吉晴 ②一柳直末 ③堀秀政 ④不破直光

3.
1

4. 旧市街に残る孫平治町の名称は、宿老の誰の名に因んでいるでしょう。

- ①山内一豊 ②一柳直末 ③中村一氏 ④池田輝政

4.
3

II. 市域の内湖（跡）や湖底の遺跡からは、これまで縄文時代の丸木舟がいくつか出土しています。丸木舟は当時の重要な交通、輸送手段で、漁労などにも欠かせない道具でした。

5. 市域で昭和 39 年（1964）、内湖跡から7艘の丸木舟が出土したのはどの遺跡でしょう。

- ①水荃C遺跡 ②奥島館遺跡 ③島遺跡 ④白王遺跡

5.
1

6. 同じく昭和 58 年（1983）、港の改修に伴う調査で3艘の丸木船と櫂2本が出土したのはどの遺跡でしょう。

- ①宮ヶ浜湖底遺跡 ②長命寺湖底遺跡
③沖島湖底遺跡 ④切通遺跡

6.
2

7. 丸木舟はどんな構造で作られていたでしょう。

- ①丸太をくり抜く ②板の張り合わせ ③竹と木の組付け ④双胴式

7.
1

8. 県文化財保護協会は復元した丸木舟の性能調査のため湖上航海実験を行いました。長浜市の浜から竹生島を目ざし5キロを2人乗りで漕ぎ出した結果はどうなったでしょう。

- ①5分で水没 ②100分で到着 ③2キロで転覆 ④疲れて断念

8.
2

Ⅲ. 2026年は安土城築城450年にあたります。天正7年（1579）に完成した城には3年後の6月、本能寺を襲った明智軍が入城。その約10日後に、天主を焼失しました。

9. 落城の際、明智軍が迫る前に信長公の妻子や上臈衆を連れて脱出させ、自分の城へ入れて保護した武将はだれでしょう。

- ①高山右近 ②中川清秀 ③蒲生賢秀 ④丹羽長秀

9.
3

10. 安土城に天王山での敗戦が伝わると、すぐに城から退き坂本城を目ざした明智軍の守将はだれでしょう。馬で湖を渡ったという伝説もあります。

- ①明智光忠 ②明智秀満 ③斎藤利三 ④武田元明

10.
2

11. 織田信長公の後継者に決まり、天主焼失後の安土城主に決まったのはだれでしょう。

- ①織田秀信 ②織田高長 ③織田信行 ④織田信孝

11.
1

12. 後継者を決めた織田家臣団の会議が開かれたのはどこでしょう。

- ①岐阜 ②清須 ③大垣 ④犬山

12.
2

B 伝承・説話にかかわる記述について、最も適当な答えを①～④から選びなさい

I. 信長公の側室「おなべ（鍋）の方」は市域の出身でした。

13. その屋敷跡とされる場所に地元の人々によって「おなべの松」が植えられているのは、市内のどこでしょう。

- ①小田町 ②船木町 ③江頭町 ④鷹飼町

13.
1

14. 屋敷はおなべの方の実家でした。地元有力土豪の城郭があったといわれ、おなべの方が側室となった後、一時身を寄せていたと伝わります。有力土豪とはだれでしょう。

14.
4

- ①深尾氏 ②小倉氏 ③九里氏 ④高畑(畠)氏

15. おなべの方は信長公との間に2男1女をもうけました。長男で信長公の七男とされる人物はだれでしょう。

15.
2

- ①信成 ②信高 ③信好 ④信貞

16. 息子2人の子孫は徳川家に仕え、幕府内で特別の役職に就きました。どれでしょう。吉良上野介も務めた役職です。

16.
4

- ①側用人 ②老中 ③若年寄 ④高家

II. 安土の内野にある摩崖仏「岩戸山十三仏」は、(17) 山から南に突き出た尾根にあります。(18) 天皇の時代、聖徳太子がこの近くに(19) 寺を建立された時のこと。山頂の巨岩から金色の光が出ているのを見た太子は靈感を感じ、この岩に十三仏を彫ろうとしましたが道具がなく、自分の(20) で彫ったと伝わります。毎年4月には、ここで恒例の(21) が催されます。

17. (17) に入る語句は次のどれでしょう。

- ①雪野 ②長光寺 ③織 ④箕作

17.
4

18. (18) に入る語句は次のどれでしょう。

- ①用明 ②推古 ③持統 ④斉明

18.
2

19. (19) に入る語句は次のどれでしょう。

- ①瓦屋 ②岩戸 ③内野 ④巖蔵

19.
1

20. (20) に入る語句は次のどれでしょう。

- ①足 ②指 ③爪 ④歯

20.
3

21. (21) に入る語句は次のどれでしょう。

- ①彼岸会 ②千日会 ③報恩講 ④仏生会

21.
2

C 建築・社寺にかかわる記述について、最も適当な答えを①～④から選びなさい

I. 写真①～④は、市域で明治時代以降に建てられた洋風建築としてよく知られる建物です。
④は建て替え（1990年）前の写真で、現状とは異なります。



①

22. 警察分署として建てられたのは、どれでしょう。

22.
1



②

23. すべてヴォーリス設計事務所が設計した建物はどれでしょう。

23.
3

24. ヴォーリス設計事務所が1953年、改修を担当した建物はどれでしょう。

24.
2



③

25. ヴォーリス以外の設計による建物は④と、もう一つはどれでしょう。

25.
1

26. ④（建替え前）を設計したのは、だれでしょう。

26.
4

- ①辰野金吾 ②武田五一
③渡辺仁 ④田中松三郎



④

27. 八幡商人、西村太郎右衛門の邸宅跡に建っているのはどれでしょう。

27.
2

28. 武佐宿の旧中山道沿いに立つ建物はどれでしょう。

28.
1

29. もとは幼稚園として建てられたのはどれでしょう。

29.
3

II. 市域の寺社建築には茅葺き(ヨシ葺きを含む)の屋根を持つものがいくつかあります。



30. 安土にある次の4神社の拝殿のうち現在、茅葺き屋根は写真の拝殿だけです。どこでしょう。

30.
2

- ①活津彦根神社 ②新宮神社
③奥石神社 ④石部神社

31. 上記①～④の拝殿のうち、土間形式でないのはどれでしょう。

31.
3

32. 市域の次の社寺のうち、茅葺き屋根でないのはどれでしょう。

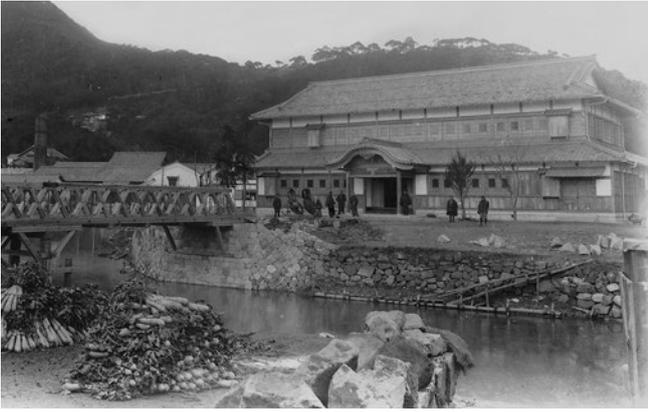
- ①沙沙貴神社楼門 ②西願寺(船木町)本堂
③教林坊庫裡 ④桑実寺本堂

32.
4

33. ヨシ産地の円山町にあって、本堂がヨシ葺き屋根で、天正時代の開創と伝わる浄土宗の寺院はどれでしょう。

- ①専念寺 ②宝珠寺 ③海雲寺 ④清見寺

33.
4



Ⅲ. 写真の建物は、八幡堀沿いに明治 42 年 (1909) に (34) として創設されました。郡制廃止後は (35) となり、のちに新町通りで公民館の一部として利用されました。さらに現在は市内 (36) 町に移設され、「ユースホステル」として活用されています。正面玄関に取り付けた (37) 破風の屋根が大きな特徴です。

34. (34) に入る語句は次のどれでしょう。

- ①蒲生郡勸業館 ②蒲生郡役所 ③八幡警察 ④蒲生銀行

34.

1

35. (35) に入る語句は次のどれでしょう。

- ①八幡町役場 ②八幡図書館 ③八幡町公会堂 ④新町集会所

35.

3

36. (36) に入る語句は次のどれでしょう。

- ①長命寺 ②沖島 ③白王 ④円山

36.

4

37. (37) に入る語句は次のどれでしょう。

- ①千鳥 ②唐 ③切妻 ④入母屋

37.

2

Ⅳ. 石組の美しい池泉庭園を持つ馬淵町の福寿寺は、江戸時代前期に黄檗宗の梅嶺禅師を迎えて復興されました。

38. 9世紀の開創とされる福寿寺は戦国時代の兵火で一時、荒廃しました。元の宗旨はどれだったでしょう。

- ①天台宗 ②真言宗 ③華嚴宗 ④律宗

38.

1

39. 梅嶺禅師を招いて寺を再興したのは富裕な八幡商人の当主たちでしたが、その中に含まれない商人はだれでしょう。

- ①伴莊右衛門 ②伴伝兵衛 ③勝見似休 ④野間清六

39.

4

40. 梅嶺禅師は京都・万福寺で修行しました。中国から渡ってきて万福寺を開き日本の黄檗宗開創者となったのはだれでしょう。

40.
4

- ①善導 ②桂堂 ③道元 ④隠元

41. 福寿寺庭園を訪れてその美を愛で詩歌集「吸江軒記」を著した文人はだれでしょう。

41.
3

- ①山口素堂 ②西山宗因 ③北村季吟 ④松尾芭蕉

42. 梅嶺禅師が、市内土田町で開創した黄檗宗寺院はどれでしょう。

42.
1

- ①正宗寺 ②法泉寺 ③正明寺 ④正瑞寺

D 教育・文化にかかわる記述について、最も適当な答えを①～④から選びなさい

I. 近江八幡は江戸時代の一時期、俳諧のまちと言われるほどに俳諧・俳句が盛んでした。八幡町の俳人・佃房原元は、芭蕉十哲の宝井其角の門下に連なる人でした。

43. 佃坊らの追善が発端で、芭蕉の100年忌ごとに3つの句碑が建てられている小船木町のお寺はどれでしょう。

43.
2

- ①義仲寺 ②願成就寺 ③願成寺 ④長光寺

44. 新町浜の西側にあつて佃房が住み、俳人たちの拠点となった庵の名はどれでしょう。

44.
1

- ①竹庵 ②堀庵 ③芭蕉庵 ④無名庵

45. 有力な八幡商人の3代目（俳号・可昌）で、実父と共に親子で佃坊に私淑したのはだれでしょう。

45.
2

- ①森五郎兵衛 ②西川庄六 ③岡田小八郎 ④谷口惣兵衛

46. 佃坊より前の17世紀半ばごろには、猥雑奔放な俳諧が盛んで、寺院などを会場に多数の句を集め点数を競う興行が八幡でもよく開かれました。何と呼ばれるでしょう。

46.
1

- ①万句合興行 ②千句会 ③万吟行 ④俳諧勝負



Ⅱ. 江戸時代、京都出身の有名な陽明学者Aが桐原の祖父の家で青年期を過ごしました。地元には記念の石碑（写真）が建っています。

47. 陽明学者Aとは誰でしょう。

- ①佐藤信淵 ②大塩平八郎
③熊沢蕃山 ④佐久間象山

47.
3

48. Aは桐原で暮らす前後 2 回、中国地方の大名に仕え公共事業などに功績を残しました。どこの藩でしょう。

- ①岡山 ②広島 ③福山 ④鳥取

48.
1

49. Aの師匠は近江聖人とも呼ばれた高島郡の人物です。だれでしょう。

- ①佐藤一斎 ②林羅山 ③中江藤樹 ④新井白石

49.
3

50. 同じ桐原に住み、漢詩「近江八景詩」などを作ってAとも交流のあった文人僧はだれでしょう。

- ①宗樸 ②宗円 ③宗仁 ④宗佐

50.
1

Ⅲ. 明治6年（1873）、当時の江頭村に至誠学校が開校しました。

51. 至誠学校の屋根形式は、京都の商家や公家屋敷に多く見られたものです。何というでしょう。

51.

3

- ①反り屋根 ②越屋根 ③むくり屋根 ④まねき屋根

52. 至誠学校が仮校舎から江頭村単独の新校舎に移ったのは明治10年（1877）です。祝賀にかけつけた当時の県令（知事）はだれでしょう。

52.

2

- ①松田道之 ②籠手田安定 ③中井弘 ④沖守固

53. 「明治6年に開校した学校」のうち、現在の近江八幡市内に開校した学校はいくつあったでしょう。

53.

1

- ①4校 ②8校 ③5校 ④10校

54. 八幡尋常高等小学校が明治22年（1889）5月に行った春季運動会は、桜川村川合（現・東近江市）の河原で行われましたが、往復の途上ではどんな学習をしたでしょう。

54.

2

- ①歌唱 ②動植物採集 ③店探検 ④写生

Ⅳ. 明治から昭和にかけての画家、茨木杉風は八幡商人の家に生まれ八幡商業学校を卒業後、家業の間屋業に従事。その後、上京して画家を志しました。

55. 実家は何を扱う問屋だったでしょう。

55.

4

- ①蚊帳 ②呉服 ③麻布 ④海産物

56. 茨木家の菩提寺であった野洲市の養専寺には昭和36年（1961）作の襖絵があります。作品名は何でしょう。

56.

2

- ①山水馬飼図 ②近江八景図 ③富士山図 ④山水図

57. 杉風は、故郷を愛し在野を貫いた画家でした。昭和 12 年（1937）に同志 12 名で結成した美術団体はどれでしょう。

- ①日本美術院 ②近代美術協会
③全日本水墨画協会 ④新興美術院

57.
4

58. 昭和 45 年には、集英社が発刊した文豪の全集第 1 巻の挿絵を描きました。文豪とは誰でしょう。

- ①夏目漱石 ②森鷗外 ③志賀直哉 ④谷崎潤一郎

58.
1

E 自然・地理にかかわる記述について、最も適当な答えを①～④から選びなさい

I. 近江八幡市の行政区域は明治以降、大きな変遷を遂げ、昭和 26 年（1951）には「大八幡町」ができました。

59. 「大八幡町」誕生の合併相手となったのはどの村でしょう。

- ①岡山村 ②島村 ③桐原村 ④馬淵村

59.
2

60. 大八幡町以前の昭和 8 年（1933）、長い議論の末、八幡町と最初に合併した村はどこでしょう。

- ②岡山村 ②北里村 ③金田村 ④宇津呂村

60.
4

61. 安土町は、昭和 29 年（1954）に 2 村が合併して誕生しました。安土村と、相手はどこでしょう。

- ①老蘇村 ②石寺村 ③武佐村 ④西宿村

61.
1

62. 平成 21 年（2009）、安土町との合併で人口 8 万 1 千人の新・近江八幡市が誕生。7 年後には新しい市歌もできました。題名はどれでしょう。

- ①ふるさと近江八幡 ②私達の近江八幡
③わがまち近江八幡 ④近江八幡だいすき

62.
3

F 生活・環境にかかわる記述について、最も適当な答えを①～④から選びなさい

I. 「丁字麩」は（ 63 ）の焼き麩で、八幡町では昔から慶弔時の献立には欠かせない食材の一つでした。なぜ、この型になったかといえ、運ぶ時に（ 64 ）からです。名称の由来は、表面にある線模様が（ 65 ）の文様の一つ「丁字引き」の文様に似ているからと言われます。小麦粉と水と（ 66 ）の3つだけを材料に製造されるのも特徴です。

63. （ 63 ）に入る語句は次のどれでしょう。

- ①筒型 ②円型 ③角型 ④三角型

63.
3

64. （ 64 ）に入る語句は次のどれでしょう。

- ①落ちにくい ②束ねやすい ③数えやすい ④傷みにくい

64.
2

65. （ 65 ）に入る語句は次のどれでしょう。

- ①襖紙 ②障子紙 ③瓦版 ④千代紙

65.
1

66. （ 66 ）に入る語句は次のどれでしょう。

- ①片栗粉 ②ビーフン ③そば粉 ④グルテン

66.
4

II. 市域の「内湖干拓」は、昭和前期の戦争を契機に動き出しました。日中戦争が始まると食糧増産のため、まず（ 67 ）で昭和 17 年（1942）から着工、学生・生徒や外国人捕虜、朝鮮半島からの労働者らを動員しました。その後、3つの内湖が干拓されましたが、西の湖と（ 68 ）は外されました。着工が昭和 42 年（1967）にずれこんだ（ 69 ）は、完工当初は水田ではなく畑地として利用され、用地には市立運動公園も整備されました。（ 70 ）ではウナギやスッポンの養殖も行われていましたが、昭和 19 年、農地開発営団が干拓を開始。戦後に完成しました。

67. （ 67 ）に入る語句は次のどれでしょう。

- ①伊庭内湖 ②小中の湖 ③水茎内湖 ④大中の湖

67.
2

68. （ 68 ）に入る語句は次のどれでしょう。

- ①北之庄沢 ②大中の湖 ③水茎内湖 ④津田内湖

68.
1

69. （ 69 ）に入る語句は次のどれでしょう。

- ①北之庄沢 ②大中の湖 ③伊庭内湖 ④津田内湖

69.
4

70. （ 70 ）に入る語句は次のどれでしょう。

- ①伊庭内湖 ②大中の湖 ③水茎内湖 ④小中の湖

70.
3

Ⅲ. 秀次公の時代に開削された八幡堀は、物資や商品の重要な運輸・交通路でした。輸送手段の変化で昭和 40 年代になると使われなくなりました。

71. どぶ川化した八幡堀は、埋め立てを求める意見が勢いを増しました。何に使おうとしたのでしょうか。

- ①住宅地 ②工場地 ③駐車場 ④畑

71.
3

72. 市民からは八幡堀を復活再生させる要求が出され、京都大学の西川研究室から保存修景計画が示されました。その後に、市民がとった行動は何ですか。

- ①署名 ②市民集会 ③清掃活動 ④浚渫

72.
3

73. 再生に立ち上がった市民たちが昭和 50 年（1975）に結成した団体はどれでしょう。

- ①よみがえる近江八幡の会 ②堀再生の会
③八幡堀を守る会 ④埋めるな八幡堀

73.
1

74. 八幡堀の再生で始まった歴史的景観の保全へ、平成 3 年（1991）、新町通など旧市街の古い町並みが県内で初めて国から選定された制度はどれですか。

- ①重要文化的景観 ②重要伝統的建造物群保存地区
③登録文化財 ④保全町並み

74.
2

G 祭礼・行事にかかわる記述について、最も適当な答えを①～④から選びなさい

I. 近江八幡市の東端に位置する浅小井町の津島神社では、7月に6基の曳山巡行が行われる夏祭があります。

75. 何という祭でしょう。

- ①曳山祭 ②浅小井祭 ③津島祭 ④祇園祭

75.
4

76. 浅小井町では曳山を何と呼ぶでしょう。

- ①ダシ ②ヤマ ③ヤタイ ④ホコ

76.
2

77. 農村地域で曳山祭を行うところは珍しいとされます。およそ何年前から続いているでしょう。

- ①100年 ②200年 ③400年 ④600年

77
2

78. 曳山の催行が可能だったのは、浅小井町で特定の農産物の生産が盛んで経済力に恵まれていたからです。何の栽培でしょう。

- ①大豆 ②い草 ③小麦 ④紅花

78
2

79. 市域では浅小井のほかにも、かつて曳山を巡行させる町内がありました。昭和34年(1959)の1基巡行を最後に解体されたのは、どこの曳山でしょう。

- ①小船木 ②加茂 ③南津田 ④牧

79.
1

II. 加茂町の加茂神社で5月に行われる加茂祭りでは「足伏の走馬」(あしふせのそうめ=写真)の行事があります。この行事は京都にある(80)神社の競馬(くらべうま)の様式を踏襲しています。馬は7頭が出て、2頭ずつが競争します。乗り手は頭に(81)を被り、1人は赤、もう1人は(82)の、素襖(すおう)と呼ばれる装束で登場。(83)の音を合図に飛び出し、境内の馬場約150㍍間を駆け抜けます。判定には、勝った方の(84)を振り上げて示します。



80. (80)に入る語句は次のどれでしょう。

- ①下鴨神社 ②八坂神社
③松尾大社 ④上賀茂神社

80.
4

81. (81)に入る語句は次のどれでしょう。

- ①烏帽子 ②兜 ③冠 ④鉢巻

81.
1

82. (82)に入る語句は次のどれでしょう。

- ①緑 ②紫 ③黒 ④黄

82
3

83. (83)に入る語句は次のどれでしょう。

- ①太鼓 ②笛 ③鉄砲 ④銅鑼

83.
1

84. (84)に入る語句は次のどれでしょう。

- ①旗 ②鉾 ③槍 ④太刀

84
2

Ⅲ. 市域には季節により営まれる祈りと暮らしの遺産ともいえる、各種の習俗・伝統行事が数多く残されています。

85. 小船木町の観音山麓の3商店街では、毎年7月に地元の諏訪神社や願成就寺を含む一帯で、縁日的なにぎわいの夏祭りが行われます。地元で何と呼ぶでしょう。

85.
1

- ①祇園さん ②水神(すいじん)さん ③地藏さん ④お稻荷さん

86. 盆行事の一つで、船木町に伝わる先祖供養はどれでしょう。日杉山の西山墓地で、僧侶と町内の代表が太鼓を打ちながら墓地内を巡り歩きます。

86.
2

- ①精霊踊り ②サンマイ踊り ③西山参り ④日杉参り

87. 白王町の伊崎寺では、毎年8月1日に伝統行事「伊崎の竿飛び」が行われます。この行事について正しい記述はどれでしょう。

87.
3

- ①竿の長さは7メートルに及ぶ。
②竿先の高さは湖面から13メートルある。
③竿飛びは修験僧の回峰行「捨身(しゃしん)の行」とされる。
④伊崎寺は「祈りと暮らしの水遺産」(文化庁)の認定を目指している。

88. 倉橋部町の安吉(あぎ)神社では、春の端午祭りに流鏝馬(やぶさめ)が行われます。次の記述のうち、誤りはどれでしょう。

88.
3

- ①安吉神社は古来、安吉郷30余村を擁する神社だった。
②端午祭りは450年前に内紛で決裂した後、5集落で再興された。
③現在は、流鏝馬に参加する5集落から1頭ずつが出馬する。
④倉橋部町は安吉神社の「宮元」、流鏝馬の「駒主」とされる。

H 産業・商人にかかわる記述について、最も適当な答えを①～④から選びなさい

I. 江戸時代、全国に活躍の場を広げた八幡商人の中には、蝦夷地（北海道）に進出する者も多くありました。その代表格の2家が住吉屋・西川伝右衛門家と、一膳箸の家印で知られる恵比須屋・（ 89 ）家です。2家は、特定の場所での取引を松前藩に代わって任される（ 90 ）に乗り出し、伝右衛門家は忍路、高島などに、（ 89 ）家は（ 91 ）や古平などに進出。近江・愛知郡から進出した商人らと（ 92 ）という仲間を結成して、海産物や魚肥などを商いました。伝右衛門家は早くから（ 93 ）=自前の廻船=を多数所有して利益を上げました。同家9代目の（ 94 ）は経営の才に優れ八幡銀行創立などに尽力、明治22年（1889）には初代八幡町長を務めています。

89. （ 89 ）に入る語句は次のどれでしょう。

- ①伴庄兵衛 ②岡田弥三右衛門 ③市田利助 ④内池宗十郎

89
2

90. （ 90 ）に入る語句は次のどれでしょう。

- ①蝦夷請負 ②漁場御免 ③場所請負 ④港免許

90
3

91. （ 91 ）に入る語句は次のどれでしょう。

- ①小樽内 ②稚内 ③根室 ④北見

91.
1

92. （ 92 ）に入る語句は次のどれでしょう。

- ①松前組 ②両浜組 ③蝦夷組 ④近江組

92
2

93. （ 93 ）に入る語句は次のどれでしょう。

- ①早船 ②店船 ③手船 ④網船

93
3

94. （ 94 ）に入る語句は次のどれでしょう。

- ①昌武 ②昌康 ③昌順 ④貞二郎

94.
4



Ⅱ. 写真のクスノキが立つ「いばECOひろば」は、西宿町出身で住友財閥の総理事を務めた伊庭貞剛縁りの地です。

95. 縁りの地とは何でしょう。

- ①起業地 ②生家跡
③工場跡 ④別荘跡

95
2

96. 貞剛の住友入社を勧誘した、野洲市八夫出身の叔父とはだれでしょう。

- ①広瀬宰平 ②西川貞次郎 ③小倉正恆 ④古田俊之助

96.
1

97. 住友の主力事業のひとつが四国の別子銅山でした。銅の精錬は周辺住民を悩ませる問題を引き起こし、貞剛はその解決に奔走しました。問題とは何でしょう。

- ①煙害 ②水質汚染 ③異臭 ④振動

97.
1

98. 貞剛はその後、製錬所を瀬戸内の無人島に移し問題を根絶しようとしました。何という島でしょう。

- ①明神島 ②梶島 ③四阪島 ④美濃島

98.
3

99. 若き日の貞剛は、八幡町出身の勤皇家で私塾「帰正館」を開いていた人物を師として、勤皇思想を学びました。師とはだれでしょう。

- ①西川吉輔 ②小島一郎 ③池田佐一郎 ④高田義甫

99.
1

100. 56歳で住友を退いた貞剛が遺した言葉は「事業の進歩発展に最も害をするものは青年の過失ではなく（ 100 ）の跋扈（ばっこ=のさばる）である」でした。

（ 100 ）に入る語句は次のどれでしょう。

- ①怠け者 ②老人 ③悲観主義 ④楽観主義

100
2

